

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年11月29日

計画の名称	階上町における循環のみの実現（重点計画）													
計画の期間	令和 0 7 年度 ~ 令和 0 8 年度 (2年間)											重点配分対象の該当	○	
交付対象	階上町													
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		340	A	340	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7当初	R7末	R8末
1	下水道処理人口普及率を28%（R7当初）から30%（R8末）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	28%	29%	30%
	下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

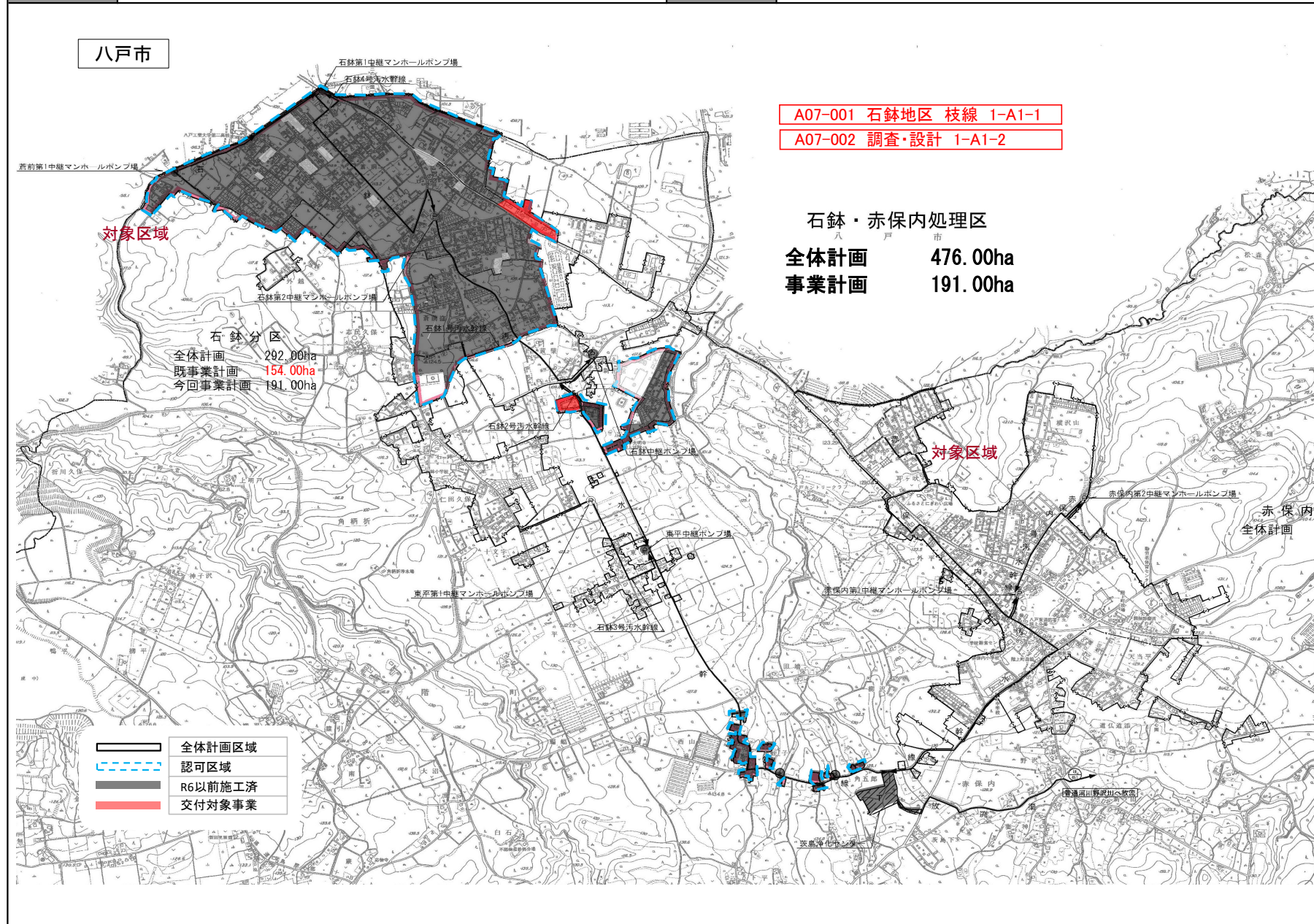
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	階上町	直接	階上町	管渠（ 污水）	新設	石鉢地区 枝線 1-A1-1	污水管 φ150mm L=1.0km	階上町	■	■				300		-	
	A07-002	下水道	一般	階上町	直接	階上町	管渠（ 污水）	-	調査・設計 1-A1-2	管きょ設計積算 L=1.0km等	階上町	■	■				40		-	
		種別 2：全種																		
												小計						340		
											合計						340			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07	R08			
配分額 (a)					
計画別流用増 減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額(g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%					
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

計画の名称	1 階上町における循環のみちの実現（重点計画）	交付対象	青森県階上町
計画の期間	令和7年度 ～ 令和8年度（2年間）		



事前評価チェックシート

計画の名称： 階上町における循環のみちの実現（重点計画）

事前評価		チェック欄
Ⅰ．目標の妥当性		
上位計画等との整合性		
Ⅰ．目標の妥当性		
下水道事業計画による認可面積191haのうち令和5年度末で約154haが整備されており、引続き整備促進を図ることとしているものであり上位計画との整合性はとれている。また、下水道事業計画に基づくポンプ場及び処理場整備は概成しており、今後は効率的な管理・運営を図ることとしているものであり上位計画との整合性はとれている。		○
Ⅰ．目標の妥当性		
地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）		
Ⅰ．目標の妥当性		
地域住民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的とした整備計画の目標を立てている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
整備計画の目標と定量的指標の整合性		
Ⅱ．計画の効果・効率性		
整備計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
定量的指標の明瞭性		
Ⅱ．計画の効果・効率性		
定量的指標は、当町の下水道の普及状況を的確に捉えており、未普及解消に適した指標である。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
目標と事業内容の整合性		
Ⅱ．計画の効果・効率性		
事業内容は下水道整備に係わる事業としており、計画の目標と整合している。また、効率的な下水道施設の管理運営に係わる事業としており、計画の目標と整合している。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性		
Ⅱ．計画の効果・効率性		
基幹事業の管渠と端部枝線（単独管）整備を一体的に行うことにより、より一層の下水道未普及解消を図ることができる。		○
Ⅲ．計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性）		
Ⅲ．計画の実現可能性		
地域毎に住民説明を行い、下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。		○

